

令和2年 萩市議会 6月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	3	瀧 口 治 昭	6月15日午前
2	13	西 中 忍	
3	2	小 林 富	午後
4	8	佐々木 公 恵	
5	5	村 谷 幸 治	
6	6	五十嵐 仁 美	6月16日午前
7	9	松 浦 俊 生	
8	16	西 島 孝 一	午後
9	18	宮 内 欣 二	
10	10	美 原 喜 大	
11	4	松 浦 誠	6月17日午前
12	12	関 伸 久	
13	1	浅 井 朗 太	午後

質問順位	1	質問者	瀧口治昭 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新型コロナウイルス感染症への今後の市の対策について	<p>1. 本年になってから世界規模で感染が進んでいる新型コロナウイルス感染症ですが、国、県、市町村においてもその対策に日々追われているのが現状であると思います。当市では、そうした対策の中で、6月1日より発熱外来の開設が行われています。前回の3月議会、その後の臨時議会の場においても他の議員より感染者への対応病院と病床数の確保についての質疑がなされていましたが、萩市にとって幸いにも今現在、感染者の発生は見られていませんが、未だ新型コロナウイルスに対する有効なワクチン、対処薬が確立されていない中では万一、市及び周辺市町で感染者の大量発生が起こった場合には市内の病院での従来の診療機能に支障をきたす可能性は大きく、感染者の隔離病棟の確保など、今後の対策として更に一歩進んだ対応が求められていくのではないのかと考えます。</p> <p>現在萩市では病院統合計画が議論されていますが、今回のような感染症の発生に対応する病床数の確保の必要性を考えた時に病床数に対する国、厚生労働省の考え、方針が変更となる事は無いのでしょうか。今回の感染症の対策で問題になっている事として、PCR検査の検査体制の不足が取り上げられています。検査機器、検査技術者の確保など問題はありますが、もう少し手軽に、速やかに検査が身近なところで出来るようにならないのかと考えますが市としてはどのようなお考えでしょうか、また今現在、市内在住者でのPCR検査受診者は何人いたのか、お聞きします。</p> <p>2. 台風、災害の発生する季節となりましたが、市では市内各地域での避難所の開設に向けて、避難所指定職員への辞令交付を例年に習い行われたようですが今年は例年と違うところ、避難者の3密の回避が課題となっております。隔離用のダンボールを用意しているとの全協での説明が有りましたが、新型コロナウイルス感染症対策の最中での避難所への対策について市の考えをお聞きします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
2. 市内小学校、中学校の今後の予定について	<p>1. 新型コロナウイルス感染症への緊急対策として市内小学校、中学校は休校を余儀なくされていましたが、国内の新たな感染者の減少により徐々に休校措置も解除されていき通常の学校活動も再開されてきているところですが、休校による昨年度分の授業科目と今年度分の科目についても休校による遅れが出てきていると思いますが、現在夏休みを短縮しての対応と報告がありました。今後の市内小中学校に対する授業計画と方針についてお聞きします。</p> <p>また、運動会、修学旅行、文化祭等の各種学校行事の扱いや、各校対抗のスポーツ大会の開催について現時点での本年度の判断はどのようにされて行くのか、お聞きします。</p> <p>また、本年度中に市内小中学校全員に配布される予定であるタブレット端末を活用してどのような授業の計画がされるのかをお聞きします。</p>

質問順位	2	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 健康寿命を延伸させる手段は何か	<p>1. 萩市の高齢化率は年々増加し、今年4月末時点で43.1%になっていますが、このような状況が続くことで、医療や介護に係る経費が増加し、市の財政にとって大きな負担になることが予想されます。</p> <p>しかし、この高齢化の流れを止めることは難しいことから、健康寿命を延伸させることが重要になると思います。</p> <p>市長も、平成31年の市長施政方針で健康寿命の延伸について触れると同時に、市としてもスポーツ推進計画で生涯スポーツを推進し健康長寿のまちづくりを目指すとするなど、健康寿命の延伸に力を入れているところです。</p> <p>この様な中、市内ではグラウンドゴルフをはじめとする様々なスポーツを生き生きと楽しんでいる高齢者がおられます。</p> <p>私は、このように多くの高齢者がスポーツを楽しむことで、スポーツ推進計画で掲げている健康長寿のまちづくりという目標が達成できるのではないかと考えています。</p> <p>そこで、まず試験的に競技人口が多いグラウンドゴルフを市の生涯スポーツに指定したうえで、施設利用料の減免をするなど利用しやすい環境をつくることで、健康寿命の延伸や財政負担の軽減、さらに施設の有効利用など、複数の効果があると思いますが、市としてどのように考えるかお尋ねします。</p>		
2. 市内高校の魅力化で市が出来ることは何か	<p>1. 平成28年から全日制普通科の通学区域が県内全域になった影響などから、市内の中学生が市内の高校に進学する割合が減少傾向にあると同時に、少子化が加速度的に進んでいる状況にあることから、高校の入学定員も減少傾向にあると思います。</p> <p>この様な中、市では市内の子どもについて、高校までは市内で教育を受けてもらいたいという思いから、市内高校への通学費用の補助を行ったり、グローバル50奨学金を創設し市内高校の魅力化を支援しています。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>私は、市内の子どもを高校まで市内で教育するという考えに賛同していますが、市内の子どもの数が著しく減少している状況を考えると、市内の子どもだけで市内の高校を維持することが難しくなり、規模の縮小や統廃合が進むのではないかという危機感を持っていることから、学生寮を整備したり下宿費の補助を行うなど高校生の生活環境を改善するなどして、市内高校の魅力化をさらに支援し、市外から生徒を集めるということも重要だと考えています。</p> <p>そこで、高校生の生活環境を改善することで市内高校の魅力化を支援する考えがないかお尋ねします。</p>

質問順位	3	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 今後の小中学校休校時における給食代替対応について	<p>1. 他自治体での事例では休校に伴い、学校給食の宅配やNPOとの協働によるお弁当の配布等を実施しています。給食は材料費のみの負担で比較的安価に栄養バランスの良い食事を提供することが可能です。また、職員を雇用しているという観点から人的資源を活用するためにも検討の余地があると考えています。</p> <p>萩市では同様の対応や代替手段はありませんでしたが、今後の対応と検討についてお聞きします。</p>		
2. 財政見通しと今後の財源確保に向けて	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、感染防止対策や経済対策によって財政調整基金を中心とした財源の拠出が続いています。</p> <p>私自身、山口県を含めた全国への緊急事態宣言や事業者の方々の深刻な状況から迅速な対応や予算の速やかな執行は必要という認識です。</p> <p>一方、他自治体では独自の財源確保に向けた取り組みなどを実施しているところもあり、今後に向けた萩市の方針をお伺いいたします。</p> <p>(1) 現在、国による地方創生臨時交付金などがありますが、現在の萩市の財政調整基金の見通しをお聞きした上で、今後の財政運営についてお聞きします。</p> <p>(2) 萩市が財源を確保する手段として、一般寄付やふるさと納税があります。前年度と比較した寄付状況が増加傾向にある中、新型コロナウイルス対策に向けたふるさと納税の使い道や基金の設立、クラウドファンディングの検討などについてお聞きします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. アフターコロナ（新型コロナウイルス収束後）の社会変化と対応について</p>	<p>1. 感染防止対策などにより暮らしが大きく変化し、在宅勤務などによる働き方の変化やオンラインでの打合せなどが広まりました。新型コロナウイルスを契機とした市役所の業務改善の余地と萩市の産業が社会変化に対応するための今後の施策についてお聞きします。</p> <p>(1) 市民が利用する市役所での窓口業務について感染防止という観点だけでなく、オンラインや郵送による利便性の向上、待ち時間の可視化など取り組むべき余地があると考えていますが、現状と今後についてお聞きします。</p> <p>(2) 萩市内の飲食店や接客業の店舗などについて、感染防止対策を講じているお店が安全・安心であることを情報発信することは、地元のお客様や今後の観光客などが安心感をもって利用できる環境づくりにつながると考えています。萩市の取り組みについてお聞きします。</p> <p>(3) 自粛に伴う変化として、オンライン飲み会やSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を活用した商品のライブ販売などもおこなわれています。また、中止された萩焼まつりも今年はインターネット上で開催予定です。 観光関連産業や飲食業などサービス業が多大な打撃を受ける中、このような社会変化への対応に向けた萩市のサポート、そして、これまで培ってきた交流人口・関係人口の活用や連携などについてお聞きします。</p>

質問順位	4	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新型コロナウイルス感染症第2波への対策について	1. 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐためオンライン診療の促進を 2. 医療崩壊を防ぐために尽力している医療従事者・介護従事者等へ支援を 3. 避難所における新型コロナウイルス感染症対応の取り組みは		
2. G I G Aスクール構想について	1. G I G Aスクール構想の事業概要と整備について 2. 教員が I C Tを活用し指導力を高める取り組みは 3. 教員の働き方改革に繋げる取り組みは 4. 情報モラル教育の充実、有害情報対策などへの取り組みは		

質問順位	5	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. アフターコロナにおける小・中学校の対応について	1. コロナウイルス感染症予防対策について 2. 休校に伴う学校教育の遅れをどう取り戻すか。		
2. 下水道未整備区域（計画区域内）の接続促進のための取組みについて	1. 未整備区域（計画区域内）の下水道接続率をどの程度見込んでいますか。 2. 接続率を上げるために、今後地元へどう理解を求めていきますか。		

質問順位	6	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新型コロナウイルス感染から子どもたちを守るために	<p>1. 一斉休校要請を受け、どのような会議がもたれたのか。感染者が出ていない萩市の状況や、仕事が休めない保護者の対応が考慮されたのか。</p> <p>2. 休校中、生活困難な家庭や虐待などの恐れのある家庭を含め、すべての子どもたちの状況を把握した適切な対応ができていたか。</p> <p>3. 学校再開で感染症対策は、どのように行われているか。</p> <p>4. 長期の休校で、精神的に不安定になったり、生活リズムがくずれたりして、心身のケアが必要な児童・生徒への対応はできているか。</p> <p>5. 発熱等感染が疑われる児童・生徒が出た場合に、待機隔離する場所の確保や、教職員は必要な知見や技能を身に付けているのか。</p> <p>6. 児童・生徒に機械的な授業の詰め込みにならないよう、学習単元の組み替えや統合など行っているか。</p> <p>7. 収入が急減している家庭に対して、就学援助の認定を年度途中でもできるように対応できないか。</p> <p>8. 教職員の感染拡大防止対策はできているか。</p>		
2. 高齢期の聞こえの支援を	<p>1. 萩市の高齢者の難聴有病者は、どのくらいいるか。</p> <p>2. 補聴器装用を必要とするのに、装用率は14%と7人に1人しか使っていない原因をどう考えるか。</p> <p>3. うつ病や認知症にも影響するといわれる難聴有病者を減らすために、高齢者の難聴対策や補聴器の支援体制が必要ではないか。</p> <p>4. 補聴器の医療情報提供書があれば、確定申告で医療費控除が受けられることを広く知らせるべきではないか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
3. イージス・アショア配備計画について	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペースメーカーを含む医療機器の電波による不具合状況についての数値解析の結果の妥当性が検証されていないことが指摘されているが、どう判断するのか。 2. 季節変動を踏まえて、年間を通した河川流量や湧水量などの調査を行う必要性を防衛省も認めているが、調査予定の確認はしたのか。 3. 演習場の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されていて、配備により雨水処理が土石流の誘引になる可能性が指摘されたが、市民の安全をどう考えるか。 4. 演習場隣接の安附水源から近接の住民の家庭水道水が供給されているが、配備による水環境への影響をどう判断するつもりか。

質問順位	7	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 大雨警戒に伴う避難所と新型コロナウイルス感染対策について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 避難所の3密対策について 2. 避難所の衛生用品等の確保について 3. 避難所以外の避難場所の確保について 4. 避難所のプライバシー確保等について 		
2. 山陰自動車道の進捗状況等について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 山陰西部国道事務所開設について 2. 山陰道（大井～萩間）の状況について 3. 山陰道（小浜～田万川間）の状況について 		

質問順位	8	質問者	西島孝一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 海岸保全対策について	<p>1. 菊ヶ浜海岸の管理について 今年度県事業に海岸浸食対策として予算計上されていますが、市として県との調整はどのようにされているのか。</p> <p>2. 西の浜海岸の管理について ここは萩市の管理と聞きますが、砂の浸食・堆積への抜本的対応をどのように考えておられるか。</p>		
2. 中核病院形成について	<p>1. 市民病院と都志見病院の今後のあり方について、また検討委員会の立ち位置について。</p>		

質問順位	9	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市のコロナ対策について	<p>1. 市内事業者向けの融資や融資とつながった給付事業が進められています。市民の暮らしを支援する事業が必要ではないでしょうか。今後どんなことを考えていますか。</p> <p>2. 公民館やスポーツ施設の再開が行われていますが、参加者名簿の提出は必要ですか。どのように扱いますか。</p>		
2. 巨大ミサイル基地 イージス・アショアのむつみ演習場配備について	<p>1. 萩市独自検証「有識者会議」の会議内容をどうみえますか。</p> <p>2. 「基地」に必要な生活用水170トンの取水を受け入れる考えがありますか。</p> <p>3. 「適地ではない」「防衛省の調査は不十分」と考える人たちの意見をどう扱いますか。</p>		
3. 地域振興の推進について	<p>1. 萩市地域人口・経済分析の結果をどのように地域振興につなげていくのですか。調査した地域での報告集会や地域振興会議等は開かれますか。</p> <p>2. 須佐・田万川地域にはインターネットの光ケーブルが敷設されていません。動画配信が広がる中で、高速通信可能な光ケーブルが待たれています。地域おこしのために何かするにも人手不足であり、それを補うためには外部の人に担ってもらうことも必要になる中、高速通信網の光ケーブル敷設ができないでしょうか。</p>		

質問順位	10	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. コロナ対策と令和2年度の事業執行について	<p>1. コロナ対策で緊急的に補正予算を組んでいる。一財も多く使わざるを得ない状況となっている。</p> <p>安定的な財政運営を行うに当たり、不要・不急の事業は延期すべきで有る。コロナ対策を実施した上での当初予算相当額を維持すべきで有り、令和2年度の事業執行についての考えを聞く。</p> <p>2. 事業延期の中には、特に「親子の遊び場整備事業」は不急に当たる。コロナ第2弾等が発生すれば、遊ぶ場所としても使用が出来なくなるようなもの（その可能性が有るもの）は延期に相当する。どう考えておられるか。</p>		
2. 文化財行政について	<p>1. 箱物行政(文化財)はやらないと言われた。</p> <p>2. 大照院も途中でストップした。しかし、事務方からは、大照院については、現在手続き中とのこと。経緯を聞く。</p> <p>3. 市長発言と事務方との齟齬が見られる。文化財行政について本意を聞く。やはり、萩は歴史と文化を大切にすまちづくりをする必要があり、文化財はやらない行政は萩には似合わない。（大照院も東光寺も藩校明倫館復元事業も）</p>		
3. 不要犬の対応について	<p>1. 予てから、道の駅「うり坊の郷」に住み着いている不要犬について、その対応は行っているものの、成果が出て無く、近隣住民の不安に思っている期間が長くなっている。住み着いている直ぐ近くには、赤ちゃんや子どもの存在も有り、急いでの対応を求めている。どう対応されるのか。</p>		

質問順位	11	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 学校での問題に助言する弁護士の配置について	1. 学校問題で法律相談を必要とする内容の件数と、その対応について 2. 弁護士の配置について市の考えは		
2. 若者の夢を実現する為の事業について	1. 若者の夢へのチャレンジを応援する取り組みについて		

質問順位	1 2	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. なぜ凍結するのか、行財政改革。予算の見直しでコロナ経済対策を万全に。</p>	<p>1. 令和元年度を「改革本番」の年と位置づけた行財政改革を新型コロナウイルス対策に傾注するため、当面の間、この取組みを凍結するとのことです。</p> <p>なぜ凍結するのでしょうか。先の臨時会の市長答弁において、この行財政改革はデフレ対策であり、インフレ誘導のための取組みと説明されていますが、行財政改革とデフレ対策はどのような相関関係にあるのでしょうか、詳しい説明を求めます。</p> <p>このようなコロナ禍であるからこそ行財政改革はむしろ必要ではないでしょうか。コロナ禍を想定していない当初予算をここで見直し、不要不急の事業を洗い出すことで、場合によっては事業不執行とするなど財源を確保する必要はありませんか。</p> <p>例えば、旧明倫小学校の体育館をボルダリング施設とする「親子の遊び場整備事業」(7,837万1千円)は市内の親子のみならず、市外の親子も対象にした有料施設と仄聞しています。</p> <p>私もこの事業を含む当初予算には賛成していますが、この事業は屋内施設で行うことから3密の懸念があり、このコロナ禍で不要不急の事業に該当しませんか。コロナ禍が終息した時に再考し、今は財源確保を優先すべきではないですか。今年度整備をしたとしても、公共施設の閉鎖等で稼働率が低下すれば本末顛倒です。</p> <p>萩市は非日常を売りにしてきた観光地です。こういう状況下では日常生活を取り戻すのが先で、観光の回復には時間がかかります。その分、財源をしっかりと確保して手厚い経済対策をすべきです。市長の見解を求めます。</p>		
<p>2. 出生数300人は達成できるか</p>	<p>1. 2027年度に出生数300人を目指すとして萩市基本ビジョンに掲げていますが、目標達成に暗雲が垂れ込んでいます。出生数は手厚い子育て支援にもかかわらず年々減少し200人を割込み昨年度は約190人、暦年では約170人となっています。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>人口を増やすことは困難であるものの、出生数については益田市並の数値を確保したいとの想いです。</p> <p>については、目標達成に向けて、どのようなビジョンを市長は描いていますか。これはすなわち、まちづくりのビジョンにも繋がってきます。どういう未来予想図を描いているのか、分かりやすくお聞かせください。</p> <p>次に、この目標に向けて、昨年度より萩市地方創生推進事業を展開し、昨年度は約 849 万円、今年度は約 549 万円の予算をかけて地域人口・経済分析を業務委託しています。この結果をどのように活用していくのかお訊ねします。約 1,400 万円もの予算を投下していますので、分析して終わりではなく、確実な成果を求めます。</p>
<p>3. 中核病院の形成にかかわる予算を早期に提示せよ</p>	<p>1. 中核病院の形成について、広報等を活用し、その必要性をPRされていますが、市民から聞こえてくる声としては、中核病院の形成に一体いくら予算がかかるのか、ということ。これを早く提示し、市民の判断を仰ぐべきではありませんか。どのくらいの予算を想定し、また、いつを目途に予算提示ができるのかお訊ねします。</p> <p>また中核病院の形成にあたり、業務委託先として監査法人トーマツを選定しました。どのような業務を委託するのか、併せてお訊ねします。</p>

質問順位	13	質問者	浅井朗太 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校措置の影響による小中学校の夏季の登校について	<p>1. 平年並みか平年より高い気温となることが予報されている6月から8月。休校措置の影響による学習の遅れを補うために、7月中と8月後半に登校することとなる。そこで以下についてお尋ねします。</p> <p>(1) 小中学校の児童生徒の熱中症等の予防対策について</p> <p>(2) 令和元年度中に整備されたエアコンの運用基準について</p>		
2. 学校給食のあり方について	<p>1. 休校措置によって子育て世代の市民にとっては、学校給食の価値について改めて見つめる機会ともなりました。</p> <p>日々子どもたちの成長に欠かせない昼食を支える学校給食。素材や産地の地域性や安全性についてよりコンセプトをもった給食のあり方は、萩市在住の児童生徒及び育てる世代の安心安全はもとより、萩市で子育てをする事の魅力化にもつながり、萩暮らし希望者の増加を望むことも考えられます。そこで、将来的な検討を含めて以下お尋ねします。</p> <p>(1) 市内教育施設の給食での無農薬または低農薬米の使用について</p> <p>(2) 無添加調味料の使用について</p>		
3. イージス・アショア配備計画の防衛省説明を検証する有識者会議の進捗を受けての市長の見解について	<p>1. Web会議・書面会議を含む4回の有識者会議がありました。4回目の会議において、ヒアリング等を終えとりまとめに入る旨が表明されました。市長に対し委員による報告がなされるところです。そこで、この有識者によるとりまとめについて、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 市長の判断においてのとりまとめの位置づけについて</p> <p>(2) 有識者会議議事録及びとりまとめの詳細に関する市長の検証と見解について</p>		